

仕 様 書

1. 件名

状態類型モデル開発のための調査

2. 作業の目的

国立研究開発法人産業技術総合研究所人間情報インタラクション研究部門（以下、「産総研」という）では、戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第3期「包摂的コミュニティプラットフォームの構築」における研究開発において、健康寿命の延伸に貢献するヘルスケアサービスの提供技術の開発とその社会実装に向けた研究を推進している。この目的のため、生活者自身の過去の経験やエピソードなどに関する情報を取得するためのアンケートを作成し、オンライン上で被調査者からの回答を集める調査を実施する。

3. 作業の概要

本作業は、健康増進行動と心理社会的な要因にかかわる過去の経験に関するアンケート調査を実施する。請負者は、アンケートをオンライン上に表示できるよう調査画面を作成した上で、10,000名の男女に調査を実施、得点の集計と回答ローデータの提出を行う。

4. 作業項目

- (1) オンライン調査のための画面作成作業
- (2) オンライン調査の実施作業
- (3) 回答データの集計、提出作業

5. 作業項目別仕様

(1) オンライン調査のための画面作成作業

- ① リッカート尺度での選択および自由記述上による回答を記録するためのオンライン調査画面を作成すること。
- ② 調査アンケートは産総研が貸与する261項目の設問（別紙調査表）とすること。
- ③ 調査画面は、調査実施前に産総研担当者へデモ画面を送信し、修正の必要な箇所がある場合には速やかに修正に対応すること。

(2) オンライン調査の実施作業

- ① 調査では 10,000 名の男女から有効回答を回収すること。
- ② 調査における 10,000 名は、無職を除く男女 18-69 歳を対象に【男性・女性×18-29 歳、30-39 歳、40-49 歳、50-59 歳、60-69 歳】の 10 通りを人口構成比に準拠した形式でサンプリングを行うこと
- ③ 調査対象者を請負者の有するモニターから無作為抽出で選定できること。
- ④ 調査アンケートのうち「一日の振り返り」とよぶ 50 項目については、以下の条件でサンプリングを行うものとする。
 - ・ 平日 2 回、休日 1 回の振り返りを行うものとする。
 - ・ 平日の振返なのか、休日の振返なのかが明確にわかるようになっていること。
 - ・ 調査参加者がいつ振返（＝アンケート回答）をするのかが制限できること。
 - ・ 調査参加者が「任意の」平日と休日を選べるようになっていること
- ⑤ 「一日の振り返り」以外の 211 項目については初回のみ聴取とする。
- ⑥ オンライン調査の実施にあたっては、回答時間、回答の矛盾などにより回答者の品質が疑われる場合、別の回答者を選定して調査を実施し、上記の有効回答数を充足させること。

(3) 回答データの集計、提出作業

- ① 回答ローデータに対して、回答時間、回答の矛盾などに問題がないかを確認後、回答ローデータを CSV 形式でまとめる。
- ② 回答ローデータと単純集計表を産総研担当者に電子ファイルで提出する。

6. 貸与品

- (1) 調査アンケート 一式

7. 特記事項

- (1) 請負者は、個人情報の取り扱いについて、別紙 1 の「保有個人情報の取扱いに関する仕様書の付帯事項」に従うこと。
- (2) 請負者の要件として、プライバシーマーク（P マーク）の認証を取得していること。

8. 納入物品

- (1) アンケートの回答ローデータ及び集計表（CSV 形式等） 一式

(2) 調査画面 (HTML 形式等)

一式

※電子媒体の場合、原則として USB メモリ等の外部電磁的記録媒体は用いないこと。

9. 納入の完了

作業完了後、「8. 納入物品」に記載された納入物品が仕様書を満たしていることを確認し、納入の完了とする。

10. 納入期限及び納入場所

納入期限：2025年3月24日

納入場所：茨城県つくば市東1-1-1

国立研究開発法人産業技術総合研究所

人間情報インタラクション研究部門

つくばセンター中央事業所6群 6-11棟 624室

11. 付帯事項

- (1) 本仕様書の技術的内容及び知り得た情報については、守秘義務を負うものとする。
- (2) 本仕様書の技術的内容に関する質問等については、調達請求者と協議すること。また、本仕様書に定めのない事項及び疑義が生じた場合は、調達担当者と協議のうえ決定する。
- (3) 請負者の責において及ぼした損害は、請負者が賠償すること。
- (4) 本作業に関し、今後同じ実験協力者へ調査を行う必要が生じた場合、継続して業務を委託する可能性がある（但し、継続的な業務の発生を保証するものではない）。
- (5) 調査で得られたデータは、上記納入期限にかかわらず同期限から5年間保管すること。但し、別途指示する場合は、産総研の指示に従い、的確に破棄又は返還すること。

以上

保有個人情報の取扱いに関する仕様書の付帯事項

受注者は、産総研の保有個人情報を適正に取り扱うため、契約書、仕様書等に定める事項のほか、個人情報の保護に関する法令、ガイドライン、指針等の定めるところにより、以下の事項に従って契約を履行しなければならない。

- ① 受注者は、本契約によって知り得た産総研の業務上の知識、秘密等を第三者にもらし、又は他の目的に利用しないこと。
- ② 受注者は、産総研から預託を受けた個人情報の取扱いについては、個人情報の保護に関する法律その他関係法令の規定を遵守すること。
- ③ 受注者は、本業務を遂行するために個人情報を収集するときは、産総研の指示に従い、適法かつ公正な手段により取得すること。
- ④ 受注者は、事前に産総研の承諾を得た場合を除き、産総研から預託を受けた個人情報若しくは受注者が本業務を遂行するために収集した個人情報を第三者に預託若しくは提供し、又はその内容を知らせないこと。
- ⑤ 受注者は、産総研から預託を受けた個人情報若しくは受注者が本契約の業務を遂行するために収集した個人情報について、本契約の目的の範囲を超えて使用し、複製し、又は改変しないこと。
- ⑥ 受注者は、個人情報を取扱うにあたり、当該個人情報の安全管理について、内部における責任者及び業務従事者の管理を定めた実施体制を構築し、個人情報の漏洩、滅失、き損の防止その他の個人情報の適切な管理のために必要な措置を講じること。なお、当該実施体制の書面を、見積書とともに産総研に提出すること。
- ⑦ 受注者は、産総研から預託を受けた個人情報を、本契約終了後、又は解除後速やかに産総研に返還するものとする。ただし、産総研が別に指示したときは、その指示に従うこと。
- ⑧ 受注者は、産総研から預託を受けた個人情報について漏洩、滅失、き損、その他本条に係る違反等が発生したときは、産総研に直ちに報告し、その指示に従わなければならない。
- ⑨ 産総研は、受注者の故意又は過失により、本業務に係る個人情報の漏えい事案が発生し、産総研が損害を受けたときは、本契約を解除し、受注者に損害賠償を請求することができるものとする。
- ⑩ 産総研は、必要があると認めるときは、所属の職員に、受注者の事務所、事業場等において、産総研が預託した個人情報若しくは受注者が本

契約の業務を遂行するために収集した個人情報の管理が適切に行われているか等について調査をさせ、受注者に対し必要な指示をさせることができる。

- ⑪ 受注者は、産総研の承諾を得て、個人情報の取扱いに係る業務を第三者に再委託（再委託先が委託先の子会社（会社法（平成17年法律第86号）第2条第1項第3号に規定する子会社をいう。）である場合も含む。）する場合には、再委託先において上記①～⑨に規定する措置を講じさせるとともに、再委託先に対して上記⑩に規定する措置を実施すること。個人情報の取扱いに係る業務について再委託先が再々委託を行う場合も、同様とする。
- ⑫ 受注者は、⑪により再委託する第三者が外国にある場合は、当該第三者が、個人情報取扱事業者が講ずべき措置に相当する措置（以下、「相当措置」という。）を継続的に講ずるために必要なものとして個人情報保護委員会規則で定める基準に適合する体制を整備している者であることを確認する。この場合に、当該第三者へ提供するにあたって、当該第三者における当該相当措置の継続的な実施を確保するために必要な措置として、次の全てを実施し、個人情報の本人の求めに応じて当該必要な措置に関する情報を当該本人に提供すること。再委託先が再々委託を行う場合も、同様とする。
- ・ 相当措置の実施状況、当該措置の実施に影響を及ぼすおそれのある外国の制度の有無及び内容を、適切かつ合理的な方法により、定期的に確認すること。
 - ・ 相当措置の実施に支障が生じたときは、必要かつ適切な措置等を実施すること。
 - ・ 相当措置の継続的な実施の確保が困難となったときは第三者提供を停止すること。
- ⑬ 上記①～②、④～⑧及び⑩～⑫の事項については、本契約終了後、又は解除した後であっても、なおその効力を有するものとする。

質問紙タイトル	シート名	項目数	回答形式	備考	回答タイミング
1 人口統計学的変数	人口統計学的変数		12 記入、選択式	分岐あり	初回のみ
2 1日の振り返り	DRM		50 記入、選択式など	分岐あり	平日2回、休日1回
3 運動ソーシャルサポート	運動ソーシャルサポート		18 ①まったくなかった、まれにあった、数回あった、よくあった、 非常によくあった、該当なし、から選択 家族、友人でそれぞれ2回回答する ②「はい」・「いいえ」 から選択		初回のみ
4 ソーシャルサポート	ソーシャルサポート		4 5件法など		初回のみ
5 International Physical Activity Questionnaire Environmental Module (IPAQ-E) 国際標準化身体活動質問紙環境尺度日本語版 (IPAQ 環 境尺度日本語版)	IPAQ-E		17 4件法など		初回のみ
6 IPAQ short版	IPAQshort		4 記入など	分岐あり	初回のみ
7 TIPI-J (ビッグファイブ)	TIPI-J		10 7件法		初回のみ
8 促進予防焦点尺度	促進予防焦点尺度		16 7件法		初回のみ
9 セルフコントロール尺度	セルフコントロール尺度短縮版		13 5件法		初回のみ
10 行動変容ステージ	行動変容ステージ		1 5つの選択肢から一つを選択		初回のみ
11 Process of change questionnaire	Process of change questionnaire		21 5件法		初回のみ
12 意思決定バランス	意思決定バランス		20 5件法		初回のみ
13 運動に対する動機づけ Self-determined Motivation Scale for Exercise-2 (SMSE-2)	SMSE-2		22 5件法		初回のみ
14 ヘルスリテラシー	ヘルスリテラシー		12 4件法		初回のみ
15 運動セルフエフィカシー	運動セルフエフィカシー		4 5件法		初回のみ
16 アプリ利用状況	アプリ利用状況		1 「はい」・「いいえ」 から選択		初回のみ
17 Epicurean eating questionnaire	Epicurean eating questionnaire		11 7件法		
18 FCQ-N (Food Choice Questionnaire New Version)	FCQ-N		18 4件法		
19 食物摂取頻度	食物摂取頻度		7 「ほとんど毎日、週に4~5日、週に2~3日、ほとんどない」など		
	項目合計数		261		

- ・質問紙2「1日の振り返り」のみ、同一のサンプルに対し、日を分けて、合計で3回の回答を求める
- ・この回答では、平日2回、休日1回の振り返りを行うものとする
- ・振り返りは、前日の出来事を聴取する形なので、回答を求めるタイミングはある平日の翌日、および休日の翌日とする。